

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公開番号】特開 2020-80977 (P2020-80977A)

【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報 2020-022

【出願番号】特願 2018-215410 (P2018-215410)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 12 日 (2020.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行うことが可能な遊技機であって、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、
前記有利状態とは異なる特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、
前記特殊状態により遊技価値が付与されやすい特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、

前記有利状態に制御すると決定可能な決定手段と、
前記決定手段の決定に対応して可変表示を実行可能な可変表示手段と、
前記決定手段の決定前に、前記有利状態に制御されると判定可能な判定手段と、
前記特別状態において、前記判定手段の判定結果にもとづいて、前記判定手段の対象の可変表示の前に実行される可変表示の実行中に前記有利状態への制御を示唆する所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、

前記特殊状態に制御されることに対応して特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段と、
を備え、

前記有利状態の制御に対応して前記特別状態の制御が終了し、
前記所定演出実行手段は、前記所定演出の実行中に前記特殊演出が実行された場合に、
前記特殊演出後の可変表示において前記所定演出を実行するときと前記特殊演出後の可変表示において前記所定演出を実行しないときとがあり、

前記特殊状態制御手段は、複数種類の前記特殊状態に制御可能であり、
前記特殊演出実行手段は、前記特殊状態の種類に対応して異なる演出態様により前記特殊演出を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(手段 A) 本発明による遊技機は、可変表示を行うことが可能な遊技機であって、遊技者

にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、有利状態とは異なる特殊状態に制御可能な特殊状態制御手段と、特殊状態により遊技価値が付与されやすい特別状態に制御可能な特別状態制御手段と、有利状態に制御すると決定可能な決定手段と、決定手段の決定に対応して可変表示を実行可能な可変表示手段と、決定手段の決定前に、有利状態に制御されると判定可能な判定手段と、特別状態において、判定手段の判定結果にもとづいて、判定手段の対象の可変表示の前に実行される可変表示の実行中に有利状態への制御を示唆する所定演出を実行可能な所定演出実行手段と、特殊状態に制御されることに対応して特殊演出を実行可能な特殊演出実行手段と、を備え、有利状態の制御に対応して特別状態の制御が終了し、所定演出実行手段は、所定演出の実行中に特殊演出が実行された場合に、特殊演出後の可変表示において所定演出を実行するときと特殊演出後の可変表示において所定演出を実行しないときとがあり、特殊状態制御手段は、複数種類の特殊状態に制御可能であり、特殊演出実行手段は、特殊状態の種類に対応して異なる演出態様により特殊演出を実行可能であることを特徴とする。そのような構成によれば、所定演出により特別状態の制御の終了が示唆されているときに、特殊演出が実行されて所定演出が継続して実行されるか否かに注目させることができ、特別状態に関して遊技に対する興趣を向上させることができる。

(手段1) 他の遊技機は、可変表示を行うことが可能な遊技機であって、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態)に制御可能な有利状態制御手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS122~S125を実行する部分)と、有利状態とは異なる特殊状態(例えば、小当り遊技状態)に制御可能な特殊状態制御手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS126~S128を実行する部分)と、特殊状態により遊技価値が付与されやすい特別状態(例えば、高確率/低ベース状態(第2KT状態))に制御可能な特別状態制御手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップ082IWS2204~S2208を実行する部分)と、有利状態に制御するか否かを決定する決定手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップ082IWS59A, S59Bを実行する部分)と、決定手段の決定に対応して可変表示を実行可能な可変表示手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS25A, S25Bを実行する部分)と、決定手段の決定前に、有利状態に制御されるか否かを判定する判定手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップ082IWS1215A, S1215Bを実行する部分)と、特別状態において、判定手段の判定結果にもとづいて、判定手段の対象の可変表示の前に実行される可変表示の実行中に有利状態への制御を示唆する所定演出(例えば、先読み予告演出)を実行可能な所定演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120におけるステップ082IWS921, S930, S931, S938で選択したプロセステーブルに従ってステップ082IWS944, S8105を実行する部分)と、特殊状態に制御されることに対応して特殊演出(例えば、図9-63(D)に示す小当り特殊図柄の表示)を実行可能な特殊演出実行手段(例えば、演出制御用CPU120におけるステップ082IWS8127, S9703を実行する部分)とを備え、有利状態の制御に対応して特別状態の制御が終了し(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100は、ステップ082IWS2502を実行する)、所定演出実行手段は、所定演出の実行中に特殊演出が実行された場合に、特殊演出後の可変表示において所定演出を実行するときと特殊演出後の可変表示において所定演出を実行しないときとがある(例えば、演出制御用CPU120は、ステップ082IWS927~S938を実行することによって、図9-64(E)および図9-65(E)'に示すように、小当り特殊図柄の表示後に先読み予告演出を再開する場合と強制終了する場合とがある)ことを特徴とする。そのような構成によれば、所定演出により特別状態の制御の終了が示唆されているときに、特殊演出が実行されて所定演出が継続して実行されるか否かに注目させることができ、特別状態に関して遊技に対する興趣を向上させることができる。